

平成21年10月29日

会社名 大阪製鐵株式会社  
 (URL <http://www.osaka-seitetsu.co.jp>)  
 代表者名 代表取締役社長 永広和夫  
 (コード番号5449 東証・大証一部)  
 問合せ先 経理部長 久埜誠一  
 (TEL. 06-6552-1442)

### 平成22年3月期 第2四半期の業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月29日に公表しました平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

平成22年3月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想数値との差異(平成21年4月1日～平成21年9月30日)(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	3,600	3,700	2,100	50.88
実績(B)	31,676	4,953	5,082	2,943	71.31
増減額(B-A)	1,676	1,353	1,382	843	—
増減率(%)	5.6	37.6	37.4	40.2	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	81,576	8,587	8,651	5,202	123.64

平成22年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	63,000	4,900	5,000	2,800	67.84
今回発表予想(B)	62,000	6,300	6,500	3,800	92.07
増減額(B-A)	△1,000	1,400	1,500	1,000	—
増減率(%)	△1.6	28.6	30.0	35.7	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	126,550	20,743	20,845	12,047	288.15

平成22年3月期 第2四半期累計期間個別業績予想数値との差異(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	2,800	3,300	2,100	50.88
実績(B)	24,670	3,733	4,297	2,747	66.56
増減額(B-A)	1,670	933	997	647	—
増減率(%)	7.3	33.3	30.2	30.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	66,901	7,570	7,743	4,692	111.52

平成22年3月期 通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	4,200	4,600	2,700	65.42
今回発表予想(B)	50,000	5,100	5,700	3,600	87.23
増減額(B-A)	—	900	1,100	900	—
増減率(%)	—	21.4	23.9	33.3	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	103,449	17,337	17,521	10,483	250.75

#### 修正の理由

当社グループは、極めて厳しい環境の中、需要に見合った生産・販売に徹することを基本に、需要家の皆様にご理解を頂きながら、鋼材価格の改善を進めるとともに、現場現物主義に立脚したあらゆる無駄排除に取り組むGo ZERO活動を推進し、全社一丸となってコストダウンに取り組んでまいりました。この結果、第2四半期累計期間損益が当初予想より改善したため、平成22年3月期通期業績予想を修正することと致しました。

なお、第3四半期以降につきましては、国内建築分野における更なる需要低迷やスクラップ価格の変動など不安定な要因が多く、引き続き厳しい経営環境となることが予想されますが、マーケットの変化を注視し、徹底的なコスト改善と持続的成長への基盤強化を図ってまいります。

上記予想の内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、製品市況や原料価格等の変動要因により、大きく異なる可能性があります。

以上